女子サッカーの普及に関する一考察

加藤　有視　(生涯スポーツ学科　地域スポーツコース)
指導教員　松山　尚道

女子サッカー　普及　メディア

1.緒言

近年、サッカー日本女子代表は世界の強豪相手に対等に戦うことができる。しかし、その活躍とは裏腹に、日本女子代表の活躍を知る者は、非常に小数ではないだろうか。以前に比べると、女子サッカーという言葉をメディアで目にすることは増えたが、それでも試合が放映されたり、ニュースで大きく取り上げられるということは少ない。もっと女子サッカーを普及させるには、どのような取り組みが必要であるかを明らかにすることを目的とする。

2.研究方法

男子サッカーを参考にし、女子サッカーに関する文献を元に、日本の女子サッカーが今後どのような取り組みをしていくべきかを考える。また、サッカー経験者で、現在はサッカーをしていない人と、大学からサッカーを始めた人にインタビューを行う。

3.結果と考察

JFA の取り組みにより、サッカーを続けることが難しいと言われている中学生年代問題への対応や、女子の大会数を増やすなど、様々な対応はすでに行われている。また、大学では、今までしてきたスポーツを辞め、新たにサッカーを始める人も増えてきている。そこから更に普及するために必要なのは、女子がサッカーを続けていく事のできる、良い環境である。施設や金銭面だけではなく、メディアや国民の意識などの、環境を整えることで、女子サッカーの普及を進めることができるのではないだろうか。

4. まとめ

本研究を行った上で、スポーツを普及させるには、様々な問題があり、その中でひとつを改善すれば良いという安易なものではない事がわかった。そのすべての問題点を挙げれば切りがないのだが、今回は様々な問題点の中で「メディア」をひとつのきっかけとして取り上げた。メディアの持つ力は大きく、トップの活躍をメディアによって広げていくことが、底辺拡大やスポーツの普及に繋がると考えられる。

.主要参考文献

(1)東明有美・入口豊・山科花恵・松原英輝(2004)：女子サッカーの日米比較研究(Ⅱ)～日本女子サッカーの歴史と現状について～.
(2)井上雅樹，Ｊリーグ入りを目指すサッカーチームのマネジメント～企業やサポーターに向けてのアプローチ～，http://www.kisc.meiji.ac.jp/~koseki/seminar/inoue.pdf
(3)JFA(2004)：日本女子サッカーハンドブック 2004,飛び出そうピッチへ、世界へ.